

応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内（未発表のものに限る）。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。（☎koho@city.shiroishi.miyagi.jp）

市民文芸

歌壇

岩崎 聰之介 選

姉あねと思おもい甘あまえ来きし叔母おば逝しきませば別わかれや足袋たびの小鉤ここう止め申まうす
映うつし見る皺しわ面めん此これよ卒寿そじうわれ年輪ねんりん寒さむ氣きにさらし生なまくべし
「二ふたに」慣なれぬ手てつきで研ひぐ包ふく丁てい夫ふの声こゑす
「切きれぬぐなつたがあ」鎌田かみたねい子こ
八甲田はちがた山の映画えいがを思おもうこここ不ふ忘ぼう吹雪ふしゆ凄せまじ消けさるくごとし
幼こき息いきテレビに映うつつて沼千ぬまちしのインタビュインタビューに答こたう「どどつとバタバタ」と大庭美智子
レシレシピ見みて柚子ゆずジャムジャムづくり一いキ口の香か氣きただようまあまあの出来でき末吉アツ子
山坂やまざかに義弟ぎていと姪めいの手てを借かりて二ふた親おやの墓はかに花はなを手て向むくも寺崎 悦子
この頃は日ひながくなりたるか雪ゆき残のこる庭にわ眺ながめては阿部あべかつみ
春はるを待まちつかな一い歩いずつ登のぼる坂道さかみち墓参ぼさんり病やみ上あがりなり息いきが切きれそう遠藤 舞
木々ききが揺ゆれ粉雪こなゆき舞まうなか山間さんかんへ逢あえる喜よろこび心こころも踊おどる阿部まゆみ

評ひやう一首目、忘れ難わすれがたい別離わかれを「足袋たびの小鉤ここう止め申まうす」に象徴しやうてい、印象いんげう的だ。申まうすは、止とめに結むすぶ補助動詞ほすうどうし、敬意けいぎを込こめる。
二ふた首目、皺しわは年輪ねんりん、結句けきうのべべに力ちからがこもる。寒さむ氣きは、困難くわんなんなども指さすか。
三さん首目、何なんかにつけ優やさしく声こゑ掛けして下くださつた目那めなさまなのだろう。初句しよきうもい。

俳壇 山家弘子 選

あるがまま生きて米寿まいじうや初鏡はつきやう
満席まんせきの子供食堂こどもじやう堂餅もちをつく
注連しる飾かざりり頼たのまれ作り六十年
白鳥しらとりの声こゑ近きづくや空仰そらあやうぐ

菊地せつ子
平間 幸恵
佐川 鉄輪
山田 もも

柳壇

四竈 英夫 選

燭台しよくだいを淨きよめて灯あかす大晦日だいげき
初日はつにちの出庭木しゅていぎの雪ゆきのキラキラと外そとは雪鍋物ゆきなべもの心満こころみちたしけり
賄まひうや家庭菜園かていさいえん七日粥にちにちがゆ
青空あおぞらや千物せんぶつ濡ぬらす時雨ときりふる若人わかしよの箱根はこね駅えき伝でん息いき白しろし
評ひやう一句目、「あるがまま生きる」というのは肚はらが座まつていないと難がたしい。自分おのれが自分おのれがといういうと苦くるしい。諸しよ法ほふ無む我がの生なまき方かたかも。
二ふた句目、子供食堂こどもじやう堂が話題わだいに。朝御飯あそみいひを食くべられない子供達こどもたちに朝食あさめしを提供ていきやうする学校がっこうも。子供達こどもたちの笑顔えがよみに餅もちをつく喜よろこびが伝でんわつてくる。
三さん句目、新年しんねんに玄関げんかんや神前かみまへに不淨ふじやうを払はらうために飾かざる注連しる。老人達らうじんたちに声こゑをかけられ一いっ緒しよに作つくつて、氣きがついたら六十年むそくねん。夢ゆめの如ごとし。

障子しょうじの穴あな空くきしままで年明けとしあけぬヒーターに身みを委ゆづねたりまるで猫ねこ
お年玉おとしづめ今年ことしは孫まごから逆輸入ぎやくしゆぱ
寝正月ねしんげつ家族かぞ団だん樂がく掘ほり炬燵炬燵
助すけけられ「お互たひたい、まに」に救すくわれる生なまきてるよ友ともの電話でんわに安堵あんたふする
晩秋ばんしゆに庭にわに緑きよは菊きくいちりん
演歌えんか好きすき歌うたは下手へただが聞き上手き上手
駅伝えきでんも終はえて静しずかなお正月しんげつ
孫まごの世よに残のこしてあげたい地下資源ちかしげん
評ひやう一句目、年末ねんまつの慌あわしさに追おわれ障子しょうじが貼はけなかった。新年しんねん早々ささ貼はることもできず、そのうち貼はろうと思う。そのうちそのうちで日が暮くれる。
二ふた句目、今年の冬ふゆは殊更ことごとく寒さむさが厳げんしい。こたつ、ヒーターなど総動員そうどうぎん。暖房だんぱうから離はなれられない自分を猫ねこに見み立て嘆なげく様ようが目めに浮うがふ。
三さん句目、今まであげていたお年玉おとしづめを、今年ことしは孫まごからもらった。孫まごの成長せいしやうを喜よろこぶ一方いっぽう、逆さかの立場たちばなになった我が身みに一抹いっぽくの寂さびしさが。

Shiroishi Market

フレッシュマーケット

～地元農産物の魅力を発信～

地元の農産物や直売所などの魅力をお届けします。

～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進！～

市内の農産物直売所情報▶



白石の春の味覚「寒ざらしそば」

寒ざらしそばは、毎年大寒の時期から立春の時期までのおよそ2週間、ソバの実を蔵王連峰の冷たい清流に浸すことでアクや渋みが抜け、ほのかな甘みを感じるのど越しの良いそばに仕上がるのが特徴です。市内では、4月上旬から材木岩公園内「小原なごみ茶屋」で数量限定で提供します。ぜひご賞味ください！

●営業日時 11:00～14:30

●定休日 4～5月 火・水曜日、6～11月 火・水・木曜日

※祝日は営業。定休日は変更となる場合あり。☎29-2760

☎農林課 ☎22-1253



▲メニューと金額は市ホームページでお知らせします。

皆さんからのすてきな情報を待っています！／

まちかどズームイン



▲受賞した皆さんとベガルタ仙台の佐藤直樹さん(後列左から1番目)

日本語の美しさやリズムに親しむ
「白石市暗唱読本」暗唱コンクール

1月27日、市役所で暗唱コンクール表彰式が行われました。株式会社ベガルタ仙台や仙南信用金庫、蔵王リース株式会社、株式会社白石倉庫の協力のもと開催したもので、各部門で最優秀賞を受賞した保育園や学校にトロフィー、記念パネルなどが授与されました。本市では、「白石市暗唱読本」を活用し、基礎学力の向上に取り組んでいます。



1_小学生の部優勝「白石二小A」チーム 2_中学生の部優勝「豆もやし本当に弱かったやつ」チーム 3_一般の部優勝「シン・深谷ヤング」チーム

心ひとつに綱を引き合う 真冬の激戦！

ひいて ひかれて 第35回市民綱引き大会

1月18日、ホワイトキューブで「第35回市民綱引き大会」を開催しました。これは運動不足になりがちな冬場の体力づくりと、綱引きを通じ、心身の健康・体力の増強、仲間との親睦を図ることを目的に行っているものです。大会には、小学生の部10チーム、中学生の部11チーム、一般の部16チーム、計37チーム

約500人が参加。集まった参加者たちは頂点を目指して、激戦を繰り広げました。観客から熱い声援が飛び交う中、小学生の部は「白石二小A」チーム、中学生の部は「豆もやし本当に弱かったやつ」チーム、一般の部は「シン・深谷ヤング」チームが優勝。会場は冬の寒さを忘れるほど、来場者の熱気に包まれていました。